

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・世界3資産・ファンド(毎月決算型)」は、第200期から第205期までの決算を行いました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指しました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

フィデリティ・世界3資産・ファンド (毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第200期(決算日 2022年12月12日)

第201期(決算日 2023年1月10日)

第202期(決算日 2023年2月10日)

第203期(決算日 2023年3月10日)

第204期(決算日 2023年4月10日)

第205期(決算日 2023年5月10日)

作成対象期間(2022年11月11日～2023年5月10日)

日経新聞掲載名: 世3資産

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みいただいた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

第205期末 (決算日 2023年5月10日)

基準価額	9,916円
純資産総額	17,978百万円
第200期～第205期 (2022年11月11日～2023年5月10日)	
騰落率	1.1%
分配金合計	90円

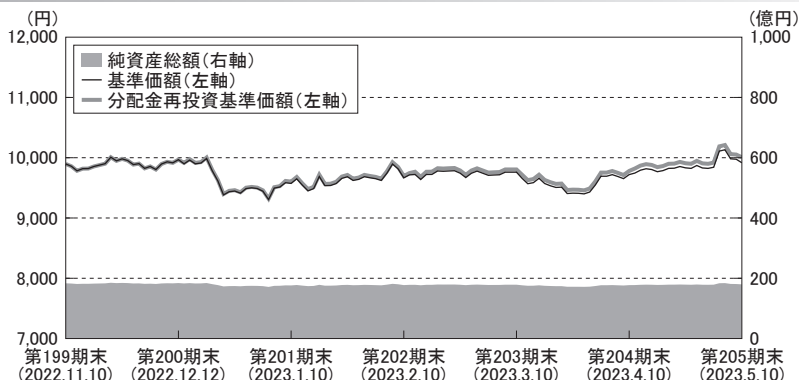
(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移



第200期首: 9,897円

第205期末: 9,916円 (既払分配金90円)

騰落率: 1.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2022年11月10日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+1.1%でした。

<プラス要因>

- ・世界の株式市場が堅調に推移したこと
- ・世界の国債、ハイ・イールド債券、新興国債券が上昇したこと
- ・円に対して英ポンド、ユーロが上昇したこと

<マイナス要因>

- ・世界のリートが低迷したこと
- ・円に対してドルが下落したこと

③ 1万口当たりの費用明細

項目	第200期～第205期		項目の概要
	2022年11月11日～2023年5月10日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	41円	0.424%	(a) 信託報酬 = 当作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,718円です。
(投信会社)	(9)	(0.092)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(29)	(0.299)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{当作成期中の売買委託手数料}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{当作成期中の有価証券取引税}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.002)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.012	(d) その他費用 = $\frac{\text{当作成期中のその他費用}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(1)	(0.007)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	43	0.438	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

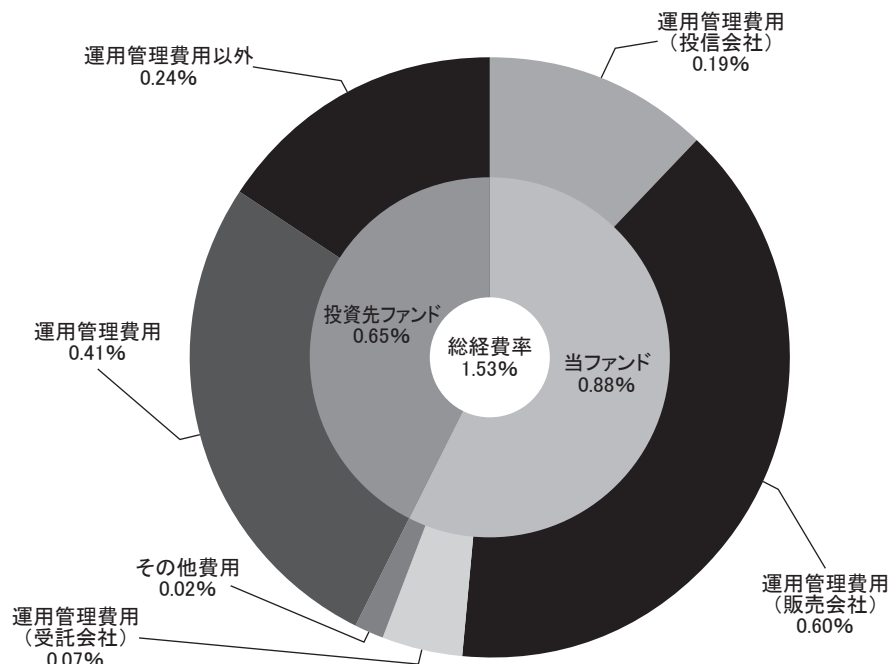
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.53%です。



総経費率(①+②+③)	1.53%
①当ファンドの費用の比率	0.88%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.41%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

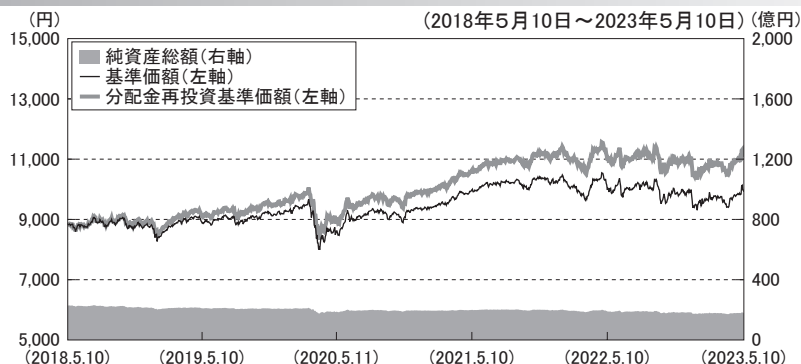
(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移



	2018年5月10日 期首	2019年5月10日 決算日	2020年5月11日 決算日	2021年5月10日 決算日	2022年5月10日 決算日	2023年5月10日 決算日
基準価額 (円)	8,820	8,886	8,617	9,976	9,983	9,916
期間分配金合計(税引前) (円)	—	220	180	180	300	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.3	△1.1	18.0	3.1	1.2
純資産総額 (百万円)	22,879	20,990	18,738	19,952	18,887	17,978

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年5月10日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

【債券】

当期の世界の債券市場は幅広く上昇しました。期初は、インフレ率の鈍化や景気減速が見込まれる中、各国中央銀行が金融引き締めペースを緩めるのではないかと観測から市場は上昇し、堅調に推移しました。日本国債は、日銀が12月に長期金利の変動幅の上限を従来の0.25%程度から0.5%程度に拡大するイールドカーブ・コントロールの修正を発表したことから、日本国債の売り圧力につながりました。2023年に入ると、中国の経済活動再開に伴う景気回復の動きや欧州の天然ガス価格の下落などを背景に世界経済の先行きに前向きな兆しが見られたことなどが市場を下支えし、好調な出だしとなりました。しかし、3月に入ると、米国のシリコンバレー銀行の経営破綻をきっかけに市場のボラティリティが高まったことから、米国2年債の利回りは急速に低下し、1987年以来となる低下幅となりました。4月には、米国のファーストリパブリック銀行の決算が市場予想を下回ったことから、銀行セクターを巡る懸念が再び高まり、米国債利回りは一段と下落しました。一方、日本国債はボラティリティの高い展開となりましたが、他の市場と同様に上昇して期を終えました。ハイ・イールド債券を含む社債は、企業業績の上振れや底堅いファンダメンタルズに支えられ、幅広く上昇しました。また、新興国債券市場は、利回りの低下や新興国通貨の上昇を受けて、現地通貨建て債券のリターンがハードカレンシー建て債券を上回る展開となり、上昇しました。

【株式】

当期の世界の株式市場は、ボラティリティの上昇が目立つ展開となる中、上昇して期を終えました。期初から2022年年末にかけては、インフレの鈍化や景気減速が見込まれる中、各国中央銀行が金融引き締めペースを緩めるのではないかと観測が浮上し、市場は堅調に推移しました。米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）は2022年12月に利上げペースを減速させましたが、インフレ目標を上回る水準の物価上昇が続いたことなどから、主要中央銀行がタカ派的な姿勢を維持したため、市場のボラティリティは高い状態が続きました。3月に入ると、米国のシリコンバレー銀行の経営破綻をきっかけに銀行セクターの混乱が生じ、金融システムの健全性に対する懸念が広がりましたが、欧米の中央銀行が迅速に対応したことなどから、市場は落ち着きを取り戻しました。このような状況の下、主要株式市場は上昇して期を終えました。また、新興国の株式市場についても、中国が2022年12月に新型コロナウイルスを巡る防疫策を大幅に緩和した他、景気を下支えするための経済対策を講じたことなどから経済活動再開に楽観的な見方が広がり上昇しました。業種別では、情報技術、コミュニケーション・サービスが最も上昇しました。

【不動産投資信託(リート)】

当期の世界のリート市場は、金利上昇に伴う借り入れコストの上昇や稼働率の低下を巡る懸念が続く中、下落して期を終えました。セクター別では、ホテルが最も打撃を受けました。国別に見ると、米国はFRBがインフレ抑制のため、継続して利上げを実施したことが引き続き住宅市場への下押し圧力となりました。ドイツの不動産市場は借り入れコストの上昇に伴い住宅ローンの需要が大幅に減少しました。住宅需要が弱含んだことから、引き続き軟調に推移しました。英国については、英イングランド銀行（BOE）がインフレ抑制のため利上げを継続したものの、不動産市場はプラス圏で推移しました。アジアでは、中国が不動産市場の支援策として、銀行に対して開発資金の融資期間の延長や住宅ローン金利の引き下げなどを促したことを受けて、香港の不動産銘柄は上昇しました。一方、日本は、日銀が2022年12月にイールドカーブ・コントロールの修正を発表したことが不動産市場への下押し圧力となり、低調に推移しました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界（日本を含む）の債券、株式、不動産投資信託（リート）に分散投資を行い、主に配当等収入を確保することを目的とした運用を行うとともに、長期的な投資信託財産の成長を目指しております。

マザーファンドの組入れは、債券70%、株式15%、リート15%の基本配分比率に基づき、各資産の利回り水準、流動性、リスク・リターン特性などを考慮して、配当等収入の確保とリスクの分散を目指して決定しております。

当期につきましても、原則として、この比率を目標とした運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

当作成期の1万口当たり分配金（税引前）は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第200期	第201期	第202期	第203期	第204期	第205期
	2022年11月11日 ～2022年12月12日	2022年12月13日 ～2023年1月10日	2023年1月11日 ～2023年2月10日	2023年2月11日 ～2023年3月10日	2023年3月11日 ～2023年4月10日	2023年4月11日 ～2023年5月10日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
（対基準価額比率）	0.15%	0.16%	0.15%	0.16%	0.15%	0.15%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	769	772	777	780	791	800

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドは、中長期的な観点から見たリスクの分散と配当等を含む収益の獲得に着目し、複数の資産に投資を行っています。今後も、投資信託証券への投資を通じ、基本資産配分比率から大きく乖離しない形で、3つの資産へ分散投資を行ってまいります。また、各投資信託証券におきましては、引き続きグローバルに展開する社内の調査ネットワークを活用した銘柄選択を行ってまいります。

3. お知らせ

該当事項はありません。

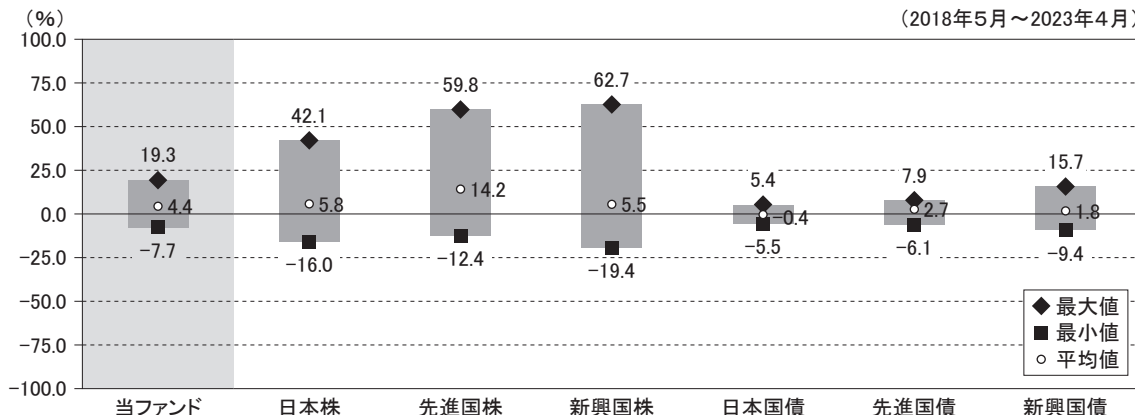
4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則無期限です。	
運用方針	主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券に投資します。
	フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	世界の各種債券に投資する投資信託証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	世界の取引所に上場されている株式に投資する投資信託証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託証券(リート)を主要な投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ●各マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界(日本を含みます。)の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指します。 ●フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドの運用は、国内外の投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて行い、ファンド分散・地域(種別)分散を図ります。 ●基本資産配分に関する運用にあたっては、FILインベストメント・マネジメント(香港)・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。 ●ファンドの運用にあたっては、FILインベストメンツ・インターナショナルに、上記以外のファンドの運用の指図に関する権限を委託することがあります。 	
分配方針	<p>毎決算時(原則毎月10日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 	

5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年5月～2023年4月)



(注1) 2018年5月～2023年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

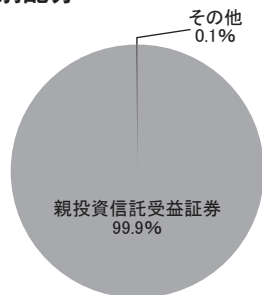
①組入資産の内容

組入上位ファンド

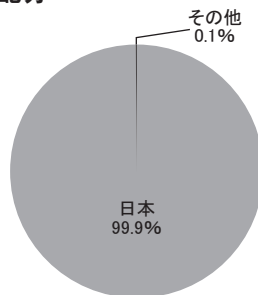
(2023年5月10日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	71.0%
フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	15.1
フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	13.8
組入ファンド数	3ファンド

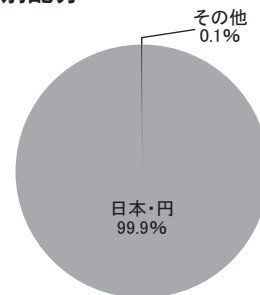
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

項目	第200期末	第201期末	第202期末	第203期末	第204期末	第205期末
	2022年12月12日	2023年1月10日	2023年2月10日	2023年3月10日	2023年4月10日	2023年5月10日
純資産総額	18,281,721,752円	17,642,459,620円	17,828,583,352円	17,665,137,123円	17,740,894,544円	17,978,117,253円
受益権総口数	18,467,336,808口	18,405,444,835口	18,338,274,880口	18,292,992,284口	18,204,377,199口	18,130,972,044口
1万口当たり基準価額	9,899円	9,585円	9,722円	9,657円	9,745円	9,916円

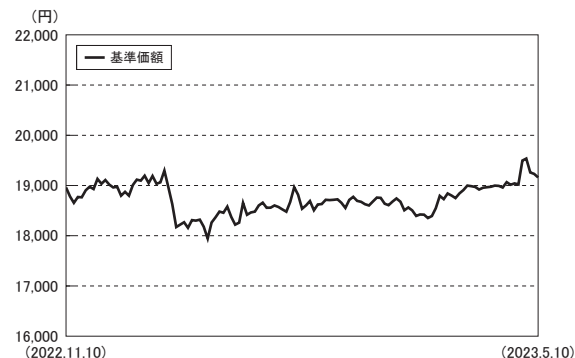
(注) 当作成期中における追加設定元本額は57,532,487円、同解約元本額は442,022,582円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

(別途記載がない限り2023年5月10日現在)

基準価額の推移



組入上位ファンド

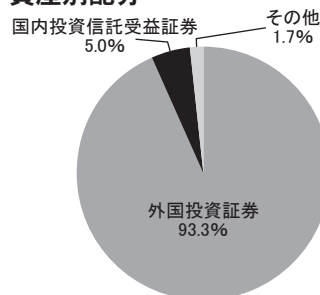
ファンド名	組入比率
フィデリティ・ファンズーUSドル・ボンド・ファンド	36.5%
フィデリティ・ファンズーユーロ・ボンド・ファンド	35.4
フィデリティ・ファンズーエマーシング・マーケット・デット・ファンド	8.8
組入ファンド数	6ファンド

1万口当たりの費用明細

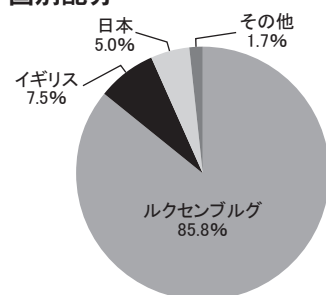
(2022年11月11日～2023年5月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	－円
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	0

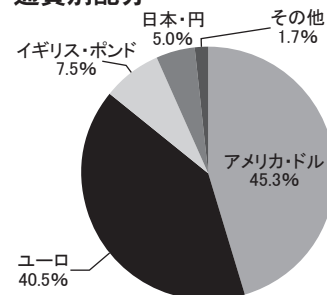
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

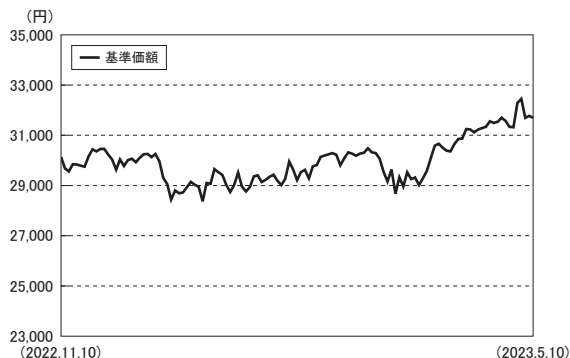
(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド 基準価額の推移



(別途記載がない限り2023年5月10日現在)

組入上位ファンド

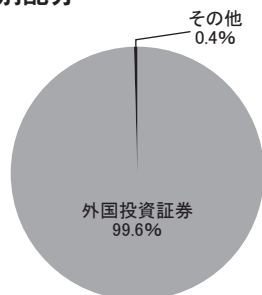
ファンド名	組入比率
フィデリティ・ファンズーグローバル・ディビデンド・ファンド	99.5%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

1万口当たりの費用明細

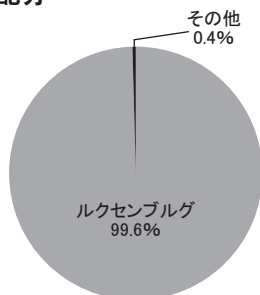
(2022年11月11日～2023年5月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	—円
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	0

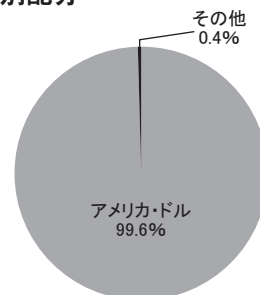
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

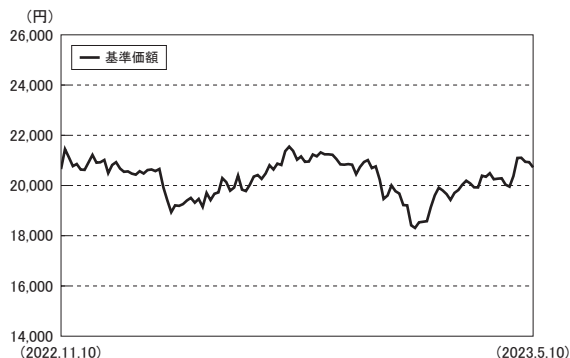
* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド 基準価額の推移

(別途記載がない限り2023年5月10日現在)

組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	8.9%
2	INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	6.6
3	PUBLIC STORAGE INC	アメリカ・ドル	6.5
4	AMERICAN HOMES 4 RENT CL A	アメリカ・ドル	6.4
5	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	アメリカ・ドル	6.2
6	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	5.9
7	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	5.1
8	CAMDEN PROPERTY TRUST - REIT	アメリカ・ドル	4.7
9	HEALTHPEAK PPTYS INC	アメリカ・ドル	4.5
10	WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.4
組入銘柄数		24銘柄	

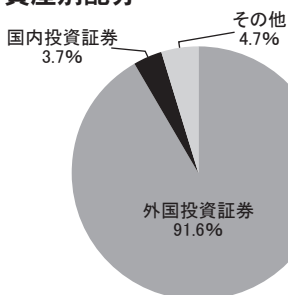


1万口当たりの費用明細

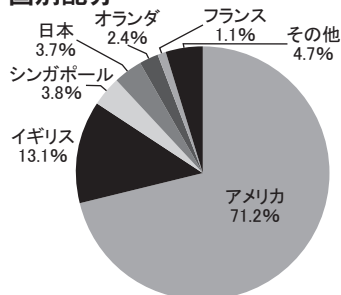
(2022年11月11日～2023年5月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	0円 (0)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	3 (3)
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)
合計	4

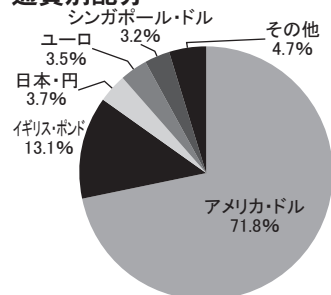
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

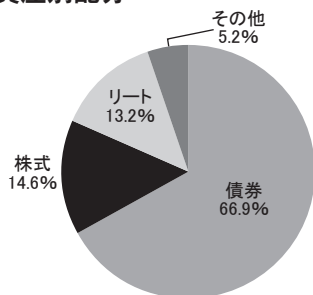
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(参考)

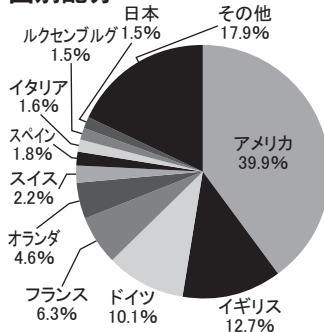
各マザーファンドが直接投資しているのは投資信託証券ですが、下記はその先の投資資産を表示しております。

(2023年5月10日現在)

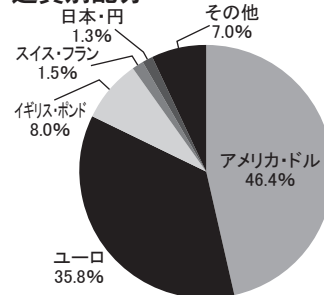
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、国・地域を表示しています。

* フィデリティ投信が2023年5月10日時点の、取得可能な投資対象ファンドのデータに基づき作成しています。運用報告書(全体版)に記載されているデータとは異なります。

組入上位ファンドにおける直近の決算日時点の組入上位10銘柄

フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

●フィデリティ・ファンズーUSドル・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2022年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	US Treasury 1.875% 15/02/2032	アメリカ	15.5%
2	US Treasury 1.125% 31/10/2026	アメリカ	9.0
3	US Treasury 1.875% 15/11/2051	アメリカ	9.0
4	US Treasury Bond 0.25% 15/06/2024	アメリカ	8.7
5	US Treasury Note/Bond 2.375% 31/03/2029	アメリカ	4.8
6	US Treasury 1.50% 31/01/2027	アメリカ	3.9
7	US Treasury 0.75% 15/11/2024	アメリカ	2.7
8	US Treasury 2.875% 31/10/2023	アメリカ	2.2
9	US Treasury 0.50% 31/03/2025	アメリカ	2.0
10	KfW 2.125% 15/06/2022	ドイツ	1.3

●フィデリティ・ファンズーユーロ・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2022年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	Germany 0.94% 15/02/2032	ドイツ	23.2%
2	Germany 0.90% 15/08/2031	ドイツ	14.8
3	German Treasury Bill -0.58% 14/12/2022	ドイツ	13.3
4	European Union 1.25% 04/02/2043	国際機関	9.3
5	Netherlands Government Bond 0.50% 15/07/2032	オランダ	9.2
6	Germany -0.59% 16/09/2022	ドイツ	8.4
7	Credit Suisse Group AG 2.875% VRN 02/04/2032	スイス	2.0
8	Volkswagen 4.375% VRN (Perpetual)	オランダ	1.9
9	Bank of America 2.824% VRN 27/04/2033 EMTN	アメリカ	1.8
10	Deutsche Bank 4.00% VRN 24/06/2032 EMTN	ドイツ	1.7

●フィデリティ・ファンズーエマージング・マーケット・デット・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2022年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	Comision Federal de Electric 5.00% 30/07/2049 EMTN	メキシコ	2.6%
2	Romania 3.624% 26/05/2030 Reg S	ルーマニア	2.3
3	Ecuador 1.00% 31/07/2035 Reg S	エクアドル	1.8
4	Ecopetrol 6.875% 29/04/2030	コロンビア	1.7
5	Nota Do Tesouro 10.00% 01/01/2031	ブラジル	1.3
6	Ghana 19.25% 18/01/2027	ガーナ	1.3
7	Argentina 1.125% 09/07/2035	アルゼンチン	1.2
8	Egypt 5.80% 30/09/2027 Reg S	エジプト	1.2
9	Egypt 8.875% 29/05/2050 Reg S	エジプト	1.2
10	Indonesia 4.30% 31/03/2052	インドネシア	1.2

フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

●フィデリティ・ファンズーグローバル・ディビデンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2022年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	Deutsche Boerse	ドイツ	金融	3.9%
2	Unilever	イギリス	生活必需品	3.8
3	Sanofi	フランス	ヘルスケア	3.8
4	RELX	イギリス	資本財・サービス	3.8
5	Roche Holding	スイス	ヘルスケア	3.3
6	Novartis	スイス	ヘルスケア	3.0
7	Cisco Systems	アメリカ	情報技術	2.9
8	Zurich Insurance Group	スイス	金融	2.8
9	Texas Instruments	アメリカ	情報技術	2.8
10	Iberdrola	スペイン	公益事業	2.7

●フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2022年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	SG Issuer -0.06% 10/03/2023	ルクセンブルグ	2.3%
2	ANZ Banking Group CP 0.28% 08/06/2022	オーストラリア	1.9
3	Canadian Imp. Bk Of Comm CD 0.79% 03/06/2022	カナダ	1.9
4	Toyota Motor Finance CP 0.35% 06/05/2022	オランダ	1.3
5	ABN Amro Bank CD 1.14% 04/05/2022	オランダ	1.3
6	Mizuho Ldn CD 0.29% 03/05/2022	イギリス	1.3
7	Agence Centrale CP 0.46% 04/05/2022	フランス	1.3
8	Bancosan CP 0.315% 03/05/2022	スペイン	1.3
9	SMBC CD 0.43% 06/05/2022	ベルギー	1.3
10	MUFG Bank CD 0.32% 03/05/2022	日本	1.3

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。